

最後になりますけれども、施設の管理運営について。事業種目がたくさんありますね。市民農園からゲートボールからね。どこで管理する予定なんですか、管理の考え方として。

○安部 隆委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

現在計画している予定地でございますが、都市計画の緑地公園でございますので、まち・住まい整備課の管理公園というふうになりますが、今後整備する中身としては、市民農園とか多目的広場、交流広場などの使用許可などの業務を行うこととなりますので、今後、将来円滑な維持管理を行うために指定管理者などの管理形態についても検討していかなければならないと思っておりますので、今後の課題だというふうに思っております。

○安部 隆委員長 10番、佐々木謙二委員。

○10番 佐々木謙二委員 まち・住まい整備課で市民農園の管理から何からするというふうなことになると思うんですね、そうなりますと、都市計画区域の中の都市公園だからと。都市公園の中、ゲートボール場からいろいろあるんですね、スポーツ施設から。そういうごちゃごちゃな雑多なものの管理を一つの窓口としてやるというのは、いかがなものかなというふうなこともありますので、その辺からも、ぜひ桜で一本化していけば一番管理しやすいと思えますよ。そういうことを申し上げて、私の質問を終わります。以上です。

## 大道寺 信委員の総括質疑

○安部 隆委員長 次に、順位5番、議席番号8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 私が通告してますのは、都市再生整備事業ということで、実は一般質問でも質問申し上げたんですけれども、ちょっと時間が限られておりましたので、確認をさせていただくという点も含めまして質問させていただきたいと思っております。

質問に入ります前に、先ほど今泉委員からもちょっと東芝ライテック問題あったわけですが、私も一般質問の中で、今の状況で行政として、きちっと大変苦しんでいる従業員の後押しのために当然本社に訪問しながら要請活動をすべきじゃないかというふうに申し上げましたけれども、早速、市長、議長に行っていただきまして、感謝申し上げます。

私は、こういうリストラといいますか、それをもう現実経験してきた、いわゆる受けとめる側として経験したものですから、本当に大変な状況の中で苦しんでいる社員、従業員というのは、我々の想像以上に大変な思いをしてくるということがございますので、これはぜひそういうことを酌み取ってやるのが行政の仕事だと。私自身も経験の中では、行政は何もしてくんねえというのが私のずっとの気持ちだったわけです。

じゃあ、何できるんだというのは、実は議員になってからも悶々として、実際にできるのは少ないという思いをずっと持ってきたわけですが、しかし、現実にはそういう問題が出て、あるいは一般質問で申し上げたように、今後さまざまなそのたぐいの問題ですね、とりわけ円高による海外シフトによって雇用の場を失うなんていう課題がこれからどんどん出てくる可能性もあるものですから、ぜひ今後とも行政のほうでも情報等を密に入れていただいて、事前に支援策があるのであれば、どんどん事前にいろんな策を打っていくということが非常に重要なことだと思いますので、ひとつその辺もよろしくお願い申し上げたいと思っております。

なお、従業員の代表のほうから市長にも感謝、お礼を言ってくださいということでございますので、お伝え申し上げておきたいと思っております。

それで、質問に入りますけれども、もう佐々木謙二委員のすばらしい質疑で何かほとんど質問することないんじゃないかぐらいまでの話になってしましまして、しかし、全体的に言いますと、何でそういうことを、今まで3月からずっといろいろやってきましたけれども、議会と行政の話というのは、いろんな意味で何で詰まってこなかったのかなというのを不思議に思っております。それはそれとして、ぜひ私が前に一般質問した内容で、とりわけ観光交流センターの予定地の関係について再度質問させていただきますので、よろしく願い申し上げます。

私、一般質問の中では、まず1つは、予定地となっているのは、これ決まったのかという質問に対しまして、市長は決まってないと、その後の再質問では、まち・住まい整備課長からは整備検討委員会で決めるのだと、こういうお話だったわけですが、先ほどの佐々木謙二委員の質疑では、基本的にはそこだと、こういう答弁でしたね。もうそこを前提にしてやるんだということで、その辺についてもう一度、一般質問で変更可能かと私聞いたわけじゃないんです、予定地決まったんですかとお聞きをしたのに対して、まだ決まってないんだと、こう市長、明確にお答えしてますので、それで整備検討委員会でもう一回決めるのだということにしましたので、佐々木謙二委員に答弁した内容との関係をもう一度明らかにしていただきたいと思っております。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

その前に、東芝ライテックさんについては、大道寺委員からもいろいろお力添えいただいて従業員の代表の方とも少しお話をする機会を

いただきました。本社に出向いた際にもそのお話などもお聞きしてましたんで、こちらの緊迫した気持ちといいますか、大変苦しいというところが相手の社長にも伝わったのかなというふうに思っ、なお改めて感謝申し上げたいと思っております。

ご質問の件でございますが、実は予定地は変更できるのかという質問は、3月からもう数限りなくいただいたと思っております。今まで一貫して言っていたのは、最適地ではないかもしれませんが、この中で一番よいと思われるのがあそこですと、そしてなおかつ観光交流拠点施設の検討委員会、この中で場所についてもご検討いただいて、あそこがいいだろうという用地ですので、そこで予定地として今回は上げさせていただきます。

しかし、変更の余地がないだろう、決まったんだろうという、いや、採択いただいて実際測量設計とか始めようとした際に、例えば産業・建設常任委員会の大部分の人が、あそここの場所は不適切だと、そういうふうなことがあれば、まだもう一回用地を検討する余地はありますということをお願いしたんですね。ですから例えば米沢市でも、ちょっと比較は悪いかも知れませんが、いろんな例があつて、場所は変更ということがあつて、ですから、それも国のほうでは認めてもらつてるわけですね、場所の変更というのは、正式な理由があれば。

しかし、今回、私どもの長井市の場合は、残念ながら米沢市と違って入り口で、場所がだめだから道の駅は反対だというふうに考えておられる委員の方も結構多いのではないかとこのように思つておつたので、まずは中に入つていただいて、かわと道の駅はやるということをお前提に今度は場所をどこにしたらいいかということで、議員の皆様からも意見をいただきたい。そうしないと、こちらとしても、じゃあ、予定地を何カ所か提示して、どれがいいですかつて、

その中で決めていただかないとこの予算を認めてもらわないということであれば、前に進まないわけですね。ですからかわと道の駅がいいかどうかということをもまず議論いただいて、そしてその次に、場所についてはまだ検討の余地があるわけですから。今はもう無理だと思います、正直なところ、9月ですから。

先ほど整備検討委員会で場所を決めるということではなくて、整備検討委員会の中では、もう実施計画まで組みますので、事業の中身を決めると。それはご意見をいただくと。場所については、そもそももう一回検討するという考えはございませんでしたので。ただ、皆さんから賛成いただいたんだけど、場所だけはおかしいぞというふうに多くの議員がおっしゃれば、もう一回検討することは可能ですというふうに申し上げたと。ちょっと詭弁みたいに、佐々木委員からは詭弁じゃないかということをおっしゃいましたけども、詭弁と言われれば詭弁かもしれませんけども、私としては、正確に言えばそういうことなんです。ぜひご理解をいただきたいと思います。

○安部 隆委員長 8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 確かに場所の問題は、各委員も全部出たわけですね、いろんな意味でどうだという話で。私は、結局場所だって重要な問題だと思うんですよ、決めるには。単にかわと道の駅がいいんだなあだけではないかないんですね。この事業をうまくするには、この場所はどうなんだ、この場所はどうかなんだなんていう検討の中で、やっぱりこれが最適だということであればいいんですけども、確かにかわまちづくり推進協議会では最適だというふうに決めたから、それで答申を出したと思うんです。

私らは、そこはどうなんですかということもいつも質問してきて、一般質問の段階で、まち・住まい整備課長、多分整備検討委員会って、答弁要らないですけども、そういうふうにおっ

しゃったから、私はちょっと変じゃないかというふうに申し上げたわけです。だから、今お聞きしたら、佐々木委員に対する答弁では、もうそこでほとんど変わらないのだとそこをまただめ押しされると、じゃあ、ここ適地なのかなんていう質問はさっぱり成り立たなくなるものだから、あえて確認したんです。

ただ、言われたように、どうしてもということで、いろんな議員の意見があればという話ですから、あえてまたその部分で適地なのかということについて、ぜひこれから質問させていただきますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

私は、一般質問で質問したときに、さまざまな問題点が場所としてあるんじゃないでしょうかというふうに実は申し上げてきました。これは佐々木委員もいろいろ、地権者の同意といひますか、そういうことの話ありましたけれども、まず、いわゆる旧マークさん、あるいは旧ハイマンビルというんでしょうか、そこは建物が建っています。恐らくそのほかに旧食糧事務所の跡のところも対象になるんじゃないかと思ひますけども、そこも建物が建ってるわけですね。建物が建っているということは、基本的にはそこ全部更地にしてという、いわゆる解体しなきゃいけないと。それぞれその解体費用というのが発生すると思うんですよ。これはある意味では、後で申し上げますけれども、今、長井市が所有している土地で更地のところがあれば、そんなこと一切要らないわけですから、コストだけの比較でいくと、それは幾ら国の補助、交付金をもらおうと言ひながら、全体的なコストはかかってくるということですから、そういう問題があるんじゃないかということで、その建物を壊すときの工事費、費用というか、それを今どの程度見込まれてるのか。6億4,800万円ですか、その中で全部やるということの中に、土地購入、いわゆる建物を含めた購入と工事費が入ります

よね。そうすると、壊すという費用が出てきますね。その辺どの程度まで見込まれているんですか。詳しいことまだわからないというのであれば、それで結構です。

○安部 隆委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 答え申し上げます。

物件の調査関係はこれから入りますので、明確な事業費についてはちょっと省かせていただきますが、用地補償費全体で2億8,000万円ぐらいは本当の概算の概算で計上しております。以上です。

○安部 隆委員長 8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 わからないと、こういうことですね。

それからもう一つは、用地購入費2億8,000万円。先ほどちょっと佐々木委員の質問の中で、いわゆる地権者の関係で話は出てこなかったと思いますけれども、民家が3軒あるというふうにお聞きしています。対象になってる民家3軒ですか、3軒は当然移転補償しなきゃいけないよね。その辺の費用というのは、どういうふうに見込まれてますか。

○安部 隆委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 これも概算の概算で大変申しわけないんですが、今のところ6,000万円ほど見込んでいるところでございます。

○安部 隆委員長 8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 必要な費用というのは、そういうことなんでしょうか。いわゆるシルバーワークプラザの解体、これもさっきの概算の2億8,000万円に入ってるんでしょうかね、解体の場合は。そこはまだわからないということですか、物件のところは。このシルバーワークプラザも解体をしなきゃいけないということ

ですね。これ先ほど市長の補助金で建てたと言いましたけども、国の補助金で買ったんですか。じゃあ、まち・住まい整備課長のあれは補助金も入って建てたとおっしゃるんですけども、それは今はもう買い取ってるということによろしいんですか。

○安部 隆委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 担当課ではございませんが、企業局の建物を買取る際に、補助金を利用して長井市が買い取ったというふうにお聞きしております。以上です。

○安部 隆委員長 8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 補助金をあれして買い取ったということで、それをなくして解体するときは、別に補助金を返すということは必要もないということですね、そういうことであれば。

○安部 隆委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 その時点で残存価格が幾らあるかという問題になるかと思いますが、その辺については、その時点での残存価格の範囲内である程度返済しなければならないというふうに思っております。

○安部 隆委員長 8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 みんな質問すると、これからだっていうお話だから、これ以上質疑してもなかなか詰まらないんですけども、私、申し上げたいのは、結局とにかくいろんな費用かかるんですよ、ここをやろうとすると。それでもやらなきゃいけないという理由が市長がずっと述べてきたことだと思うんですけども、それだけ私は適地としては、さっき申し上げたように、国からの交付金、いわゆる4割は国に負担してもらえるから、いわば自前の資金は少なくて済むからということをおっしゃるんだけど、現実には、そういうものの全部費用を重ねれば全体事業費というのは上がるわけですから、それ

は市の負担だっただけ結果としては上がると、こういうことになるのではないかと私は思うんです。

それは、詳しいことはということですから、後でいろいろ煮詰まったときに出てくるんだと思いますから、これ以上質問してもだめなのかなと思いますので、次に、小学校及び幼稚園の安全面の関係については、先ほど江口委員が質問されたのに対して教育長お答えになったわけですが、通学路の問題ですね。

これは当然そこをできるだけ危険なところじゃないところに変えたり、いろいろすればできることなわけですが、問題は、やっぱり保育園のところですね。これは先ほどの答弁では、これからやるということなんでしょう、基本的には。ただ、バスだからということなんでしょう、あそこはバスだけじゃなくて、送り迎えの保護者もいるわけです、現実的に。だからそれは当然夕方というところが非常に問題になってくるのではないかとということに危惧してるわけです。

教育長はそういう答弁されましたが、具体的にはこれからと言われればそうなんですけども、非常に私はそういう意味で安全面でちょっと危ないなという思いもあるものですから、もう一度その辺、今度まち・住まい整備課長としての考え方を聞かせていただきたい。

○安部 隆委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 このたびの計画に当たっては、長井小学校のほうにもご説明申し上げて、いろいろ課題等についても意見交換させていただきましたが、通学路は国道287号の歩道と、それから信号機のある交差点、横断歩道には歩行者の信号機がついていると。小学校が指導している範囲内で通学しておれば危険なことはないというふうなお話をいただいておりますので、児童の通学に関しては、その危険性はないというふうに私は感じております。

以上です。

○安部 隆委員長 8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 だから児童の通学はいいんですけども、いわゆる保育園のところですね。結局あそこずっと、最終的にどういうあれか、図だけ見ると、信号から右折して行って入っていきますね。そうすると、保育園のほうにもそこに入る、道路をどうするかわかりません、そこは行き来するわけでしょ、あるいは向こうから入るのかどうかわかりませんが、それと同時に、全く近いところですから、すぐ隣接するわけですから、だからそのところというのはきちっとしとかなきやいけないんじゃないんでしょうか。もちろん騒音の問題も、小さい子供ですから、昼寝もしなきやいけないときにみんな、そこはどういう格好になるかわかりませんが、がんがん騒音が出てくるといふこともありますから、その辺も含めて考えておられるんでしょうか。

○安部 隆委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 園児の送り迎えについては、スクールバスもしくは父兄の方が送り迎えするのが一般的だというふうに思いますので、歩行的な部分の危険性はないというふうに思います。幼稚園と道の駅を計画している間には道路も整備を予定しておりまして、そして境界側のほうには植栽もしくは建物で遮へいすることも検討しておりますが、なお、具体的な整備内容については、今後の基本設計の中で検討していきたいというふうに思っています。以上です。

○安部 隆委員長 8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 そこは恐らくこれからだというお話ですから、これは十分に考えていただかないと、園のほうには行かれたと言いますけれども、恐らく保護者会の皆さんではやっぱり不安が非常に大きいという話もお聞きして

ますので、ぜひその辺については今後課題としていただきたいと思います。

それから、これまでの質疑の中では、いわゆる旧長井ダム工事事務所、何回も出てきますけど、跡地のところですね。ここの関係をずっと何人かの委員の方言われてきてるわけですけども、市長から、あそこが大変だという理由いろいろ上げられました。例えば地権者、いわゆる手前のほうですね、地権者がなかなか今まで同意、売ってもらえないような時期があったんだという話とか、右折するときには非常に渋滞が起きるんじゃないかと、それから狭いとかスペース的に足りないんじゃないかと、こういうお話あったんですけども、そういう中で1つは、地権者の同意が得られないというふうに言われてるわけですけども、その一方で、佐々木委員の質問に対しては、もうこっちのマーク跡地のところは、ほとんど地権者については打診してるわけですね、どうでしょうか、この場合にと。

私、申し上げたいのは、ここもあるんじゃないかじゃなくて、そこの検討のときに並べて考えなきゃいけないんじゃないですか。こういうところ、こういうところ、こういうところだと、こういうところはこういう問題があるというところで、ここが最適だという決め方だったらいいんですけども、ダムのところは地権者が例えば同意を得られないんだというふうにおっしゃるんですけども、今回の件で、例えばこういう計画があったらどうでしょうかという打診的なものというのはされたんでしょうか、まち・住まい整備課長、お願いします。

○安部 隆委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 昨年の10月から計画検討委員会を設置しまして、その中の候補地としては、長井ダム跡地というのが検討の中に入っておりますので、十分に立地場所につ

いては検討した結果、最適地だというふうな報告を受けたというふうに思っております。以上でございます。

○安部 隆委員長 8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 今の答弁ちょっとわからないんだけど、私が質問したのは、検討委員会ではそういうやられたというんだけど、だって、こっちは打診してるわけでしょ、地権者というか、持ってるあれに。だから得られないと、今はわかりませんが、前は得られなかったという答弁をいただいているわけです、工事事務所の跡地は。市長、じゃあ、ぜひ。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

最初からマークの跡地を当たったわけではないわけですよ。ですから検討委員会を去年の10月につくっていただいて、そして大体の方向性が決まった段階で、ここが最適地じゃないかと、その経過は私わかりませんよ、ただ、いっぱい候補地は上げてもらったということは報告書の中にも書いてあるわけですね。最終的に大体まとまってからあそこを当たってるという形です。ですから最初からあそこを決めて了解もらって、ほかのところは消去法で消していったということではないんです。

あと、私、今回ぜひ議会の皆さんにはこういうことをお願いしたいということで何回も言ったのは、例えば最近ですと、消防署の本部、あそこにつくるということで皆さんに了解をもらってるわけじゃないと思うんです。あとは、TASの場所、あそこにTASをつくるということで了解をもらってるわけじゃないと思いますね。最初、消防本部を新たに作りますということを了解いただいて、その後、場所をどうするかということをみんなで議論して場所を決めたと思うんですよ。

でも今回の議論は、どちらかということ、道の駅をどうのこうのということも、これはいろいろ

ろご意見いただきました。でも場所のことがずっと出てきてまして、私のほうは、一緒にやりますと、もう混乱して決まっていけないわけです。だからそれはちょっと私どもの話の仕方が悪かったのかもしれませんが、一応こういう建物をこういう理由でつくりたいということだけではなくて、具体的な概算の設計を出さなきゃいけないものですから、場所をある程度想定して一緒に提案させてもらったということなんです。

皆さんの意見の中は、かわと道の駅も反対だ賛成だでももちろんあったんですが、場所がだめだからだめだということがあるわけです。じゃあ、今回上げてきた以外の場所をどうのこうのというふうに話をするには、まず、かわと道の駅がどうかということを決めていただいてからでない、場所の検討は本当はできないんじゃないかと思うんですね、私はね。ですから私言ってるのは、かわと道の駅の今回実施測量とか、最終的には実施計画までつくとしたら、まずはかわと道の駅をオーケーしてもらった後に、本来は土地の場所ですね、つくる場所、それは4月の時点ぐらいだったら十分に検討する余地があったわけですから、そこでもう一回皆さんから意見いただいて決めていただければよかったんじゃないかと思ってるんです。

ですから今回、佐々木委員の質問に対しては、実質的にあそこで場所を変更するのは現実的にも無理だろうということで、少し今までの一般質問と違うような回答をいたしましたけども、ちょっと詭弁といえば詭弁かもしれませんが、私はそういうふうに今まで考えておりました。

○安部 隆委員長 8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 消防本部とかTASの話、今出されたんですけども、それはわかりませんよ、私もそのときいませんでしたから、議会にいませんでしたので。でも場所を決めねえ

で議論するなんていうことってあるのかなというのが、私、不思議なところですよ。それはわかりませんが、知ってる人がいれば教えていただきたいんですけど。

(「わからん」の声あり)

○8番 大道寺 信委員 だから恐らく多分TASなんかは、最初別のところでごちゃごちゃ議論して決まったところですね。消防署もだったと思いますよ。最初ごちゃごちゃ意見闘わせて、結局別のところ行ったという、それはあるんですが、結果的には、やっぱりこの場所で提案されてるんですよ。それで、ごちゃごちゃ議論して、そこではだめだということで、別のところへ行った。

(「そうだ」の声あり)

○8番 大道寺 信委員 消防本部のところは議長が一番内容をよく知ってるんでしょうから後で聞いてみますけども、そういうことで、わかりました。

まず、戻しますと、確かに市長おっしゃるとおり、それは委員会の中で旧ダム工事事務所跡もちゃんと候補地でやって検討したんだというお話ですから、そういうことで考えてよろしいんですね、まち・住まい整備課長。

○安部 隆委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 先ほど申しましたように、整備計画検討委員会の中で立地場所について検討して、現在の候補地が最適地だというふうに報告を受けておりますので、当然旧長井ダムの跡地についてもその中で検討した結果というふうに思っております。以上です。

○安部 隆委員長 8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 そう言われてしまえば、そういうことなんで、私は、結局今まで質疑してきたのは、あそこどうなんですかと言ったらいろんな理由をつけられたので、市長、答弁されたと思うんですが、いわゆる地権者の問題だ

とか右折の渋滞の問題とかスペースが足りないとかという問題言われたから、私、そういうことで、そこはどうなのでしょうかと、今の場所との比較でいうと、むしろそっちのほうがいいんじゃないですかという思いがあってそういう質問をしたわけですが、これは検討委員会でしたんだと、こういうことであれば、そうですかと言うしかないのかなと思います。

先ほど言った、いわゆるいろんな建物があって、いろんな考えなきゃいけない安全問題あって、いろんな問題ありながらも、そこが最適だと。これは恐らく河川緑地公園の遊歩道の問題とか、観光振興計画とか、ほかとの関係を含めてそこが最適だということを再三市長言っておられますから、それ以上そうじゃないんじゃないかと言うと、見解の違いで終わりますので、そこはあえて申し上げませんが、ちょっと気になったのは、さっき佐々木委員が非常に安全上問題なんじゃないかと、あのまま放置しとくとですよ、いわゆる旧マークの跡地。

それは、ある会合に行ったときに、これ言っているのかな、地区長会との話のときに、ちらっとそういう話出たもので、私はそれはちょっと違うなと思って聞いておったんですが、いわゆるあそこまでずっと廃墟ビルみたいに残っていると、大変だからあそこにしてもらいたいみたいな、そういう意向もあるみたいな話ちらっと聞いたんだけど、これ答弁要りません。私は、それちょっと変だと思うんですね、おかしいと思うんですよ、そこは。そこはちょっと勘違いしてもらっては困るなという感じなんですね。

(「私は知らない」の声あり)

○8番 大道寺 信委員 市長、それはそういう話を聞いたんで、まさかそういうことはないですよ、今ないっておっしゃいましたから、わかりました。そういうふうに言ってる人もいます。だから、この際だからあそこを全部撤去してもらったほうが良いと、こういう言い方する

人もいるものだから、それ聞いたんで、私はちょっとそこは違うなというふうに思いましたので、そこはわかりました。そういうふうに受け取らせていただきます。

それともう一つは、これもさっきいろいろ出てますけれども、今度ここに出るかわと道の駅は、特に観光案内所とトイレと市民直売所も入るということですよ、今の計画では当面はね。その運営についていろいろ言われてるわけですが、地場産センターというのは市長の考えとして出ましたけれども、実はこれ、今度TASの運営と非常に地場産どうするかというのは関係いろいろ出てくるわけですね。

そういう意味でいいますと、観光交流センターについて、商工会議所と今の段階でこういう計画でこういうことを考えてますという話、こういうことって、年とると、ああとかこうとかってばかり言うんだけど、地場産はいずれあそこに移転を、いわゆる物産館も含めてなかなか先ほどから言ってるように売れねえから、そっち側に持っていくんですと。そっち側で運営して、あとは、あそこはホテルなんで、ぜひそういう方向でいきましょうというような、これ公式の議会場で市長発言されましたので、それらについて商工会議所と話し合いというのはされているんでしょうか、それについてお聞きをします。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

商工会議所と具体的な話はまだしておりません。

○安部 隆委員長 8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 これ大変重要な課題なんで、私はぜひ、どこの段階でというのはありますけど、固まらなければスタートしないということですから、やっぱり会議所ときちっと話していくべきだろうと思います。いやいや、3年かかろうが、これから運営の先のことという



のは、一応話し合いですから、これ、その意見を聞いていこうということですから、それは必要なことだというふうには私は思います。

これ以上、適地かどうかなんていう議論をしてもしょうがないんでしょうけども、ぜひ私としては、場所は違うんだと言われても、場所って非常に重要だと私は思ってまして、そういう意味で決して適地というふうには言えないんじゃないかということで、質問させていただきました。

2つ目の関係ですが、これが先ほど言ったように、冒頭申し上げたように、旧マーク跡地は決まってないと、こう言われたわけですが、補正予算を承認された後に整備検討委員会で決めることだと、こういうことで再質問の中で言われましたので、そのことについて、さっき市長は違うみたいなことを言われましたから、まち・住まい整備課長、ちょっと教えてください。

○安部 隆委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

一般質問のときにもご説明申し上げましたが、これから設置する整備検討委員会では、基本設計を立てるために具体的な施設やグレードなどについて検討していくというのをご説明申し上げたというふうに記憶しております。ということで、今後、整備検討委員会を設置しまして、基本設計を立てるためのいろいろご意見を伺いながら策定していくというふうなことでございます。

○安部 隆委員長 8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 後で会議録を見ればわかるんで、そこではどこで決めるんですかと言ったら、間違いなく整備検討委員会だっておっしゃったんです、課長は。それはそれで、後で見ます、ちゃんと会議録。

私は、整備検討委員会で決めるので、今回の

補正予算には測量等調査業務委託料を提案されてるわけですね、合わせて五千何百万円。測量等調査業務委託料ですから、具体的に調査測量もしながら最後は実施設計まで持っていくというさっき話なんで、場所を特定しないでその委託料を認めてくださいというのは、ちょっと違うなという思いなんですよ、そこは。だって、そうでしょ、その測量するところの場所を特定しないで委託料を認めてほしいというのは、場所は結局市のほうに白紙委任にしてくださいと、任せてくださいと、こういうことになりませんか、市長。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

何度も申し上げますように、場所はあそこということで提案してるわけですよ。ただ、何回もありますように、変更の余地ありますかと言いますから、私はゼロではないということは今まで申し上げてきたんですよ。それは私からいけば、大道寺委員から見れば私は詭弁言ってるかもしれませんが、私からいけば、大道寺委員が詭弁だと思いますね。だって、私は、あそこということで計上してるわけですよ、予算は。検討委員会であそこがいいだろうということで選定いただきましたので、あそこでそれに基づいた積算をして予算を計上してるわけですよ。しかし、変更の余地がないかということ、ゼロではないということも言ってきたんですよ。それはなぜかということ、何らかの事情で場所が変わることってよくあることです。そして議会の大半の方があの場所はだめだと、道の駅はいいんだけど、場所がだめだということであれば、再度検討する余地がありますよというお話をしてるんですよ。

ですから、やっぱり大道寺委員から見場所の考え方と、私ども当局側から言ってる場所の考え方で全く見解の相違がありますんで、ですから私から見れば、大道寺委員がおっしゃって

ることというのは言葉尻を捉えているんだろうと。変更できますかって言うから、大道寺委員はおっしゃってないかもしれないですけど、何回も、3月の一般質問、予算総括、6月の一般質問、予算総括でいただいているわけです、そういう質問を。だからそれは、あそこの場所がよりベターだと、最適地じゃないかもしれないけども、よりベターだということで今回は上げてきてますと。しかし、場所がどうしてもだめだという大方の皆さんの意見であれば、変更せざるを得ないんじゃないですかということ、変更の余地があるんじゃないですかと、そういうことを申し上げてるわけです。私が言っていることがおかしいとは思っておりません。

○安部 隆委員長 8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 私の言うこと詭弁だっ  
て、私は変更になりますかということ聞いてなくて、今回の予算で決まったんですかって聞き方したら、いや、まだ決まってないんですと市長答えたから、そう申し上げてるんです。確かにほかの人は言いますよ、変更できますかと。具体的に言うと、赤間委員なんかは変更きくん  
ですかと質問をされました。梅津委員もほかの場所の提案をされました。それは確かに変更はできるんですと、それはさっき市長がおっしゃったとおりだと思うよ。本当は市としてはここに決めて出してただけど、どうしてもそこはだめだというのであれば、そういう余地はあるという意味でおっしゃったというんだから、それはそれでいいんでしょうけど、私、詭弁だと言われても困るんだね。

私は、そのときに、会議録見れば全くわかる話で、そこに決まったんですかと、そしたら、いや、まだ決まってねえんだとおっしゃるから、そういうふうに質問したんです。それで……。いいです、そこをいろいろやってみようがねえんだ。

私は、整備検討委員会じゃないっておっしゃ

るものだから、ここの都市再生整備計画、いろいろ議論されて、3月でしょうか、計画決まったの私ら後で聞いたんだけど。そこを受けて、これどうしますかというのは、最終的には庁議にかけて決めることなんですよ、市としてこういくんですということは。だからそこはもう一回また整備検討委員会が出てくるとちょっと頭おかしくなるんだけど、場所をどこにするかというのは市として決めるわけですよ、検討策定委員から受け取っても。だからそれは市で決めるわけですよ、予定の場所、ここですと。だからおれは、今回の業務委託料というのは、この場所はそこだということで提案したんじゃないですかとお聞きして、そしたらまだ決まってないっておっしゃるから、今不毛の議論をしてるんです、ずっと。

私は、市で決めるでしょ、だから市長がおっしゃったように、本来だったら例えば、ここの答申を受けてたやつをこれでいきますと決めるのは庁議か何かで決めるんですよ、そこだけそうじゃないですかとお聞きします。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 場所を含めてこれは大きい事業ですから庁議に説明をして、庁議の了解を得て提案したということです。

○安部 隆委員長 8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 だとすると、もう基本的に、議論の中で、これを認めるか認めないか場所が問題になってきたというんだったら、それは議会の意向を受けて変更することはあり得るけども、そうでなれば、この場所で今回の調査費つけたんだということによろしいんですね。そういうことで、私はこれでいいかどうかという議論するしかないということですよね。わかりました、じゃあ、そういうことで対応したいと思います。

それでは、最後の質問の関係なんですけれども、観光振興計画と中心市街地活性化基本計画

という、このセットでずっと議論されてきてます。「あやめR e P o」もそういうつくりになってます、全部そういうことになってます。そういうふうにして説明されてるんですけども、いろんな説明なり、市長がいろんなところへ行って説明されること、あるいは「あやめR e P o」も含めてあれ見ると、これで決まったなだべという聞き方されるんですね、私らは。

ただし、私の認識としては、観光振興計画及び中心市街地活性化基本計画というのは今策定中なんですよ。私からいえば素案ではないかと、今、素案をベースに検討を進められているわけですね。そういうことだと思うんですけども、そういうことで理解してよろしいでしょうか。観光振興計画と中心市街地活性化基本計画は、今の段階は素案の段階だと、こういうふうに理解してよろしいですか。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 観光振興計画については、素案じゃなくて、今、素案から本計画への策定の移行の段階です。素案のもう段階は過ぎたと思ってます。

それから、中心市街地活性化基本計画については、これからつくるものであり、「あやめR e P o」では中心市街地活性化基本計画の中身はほとんど触れられてないと思います。というのは、これから市民の皆様がいろいろ考えていただいて、行政でも計画をつくりませんが、市民の皆様が計画がもとでございまして、委員がおっしゃったのはちょっと違う段階だと思います。

○安部 隆委員長 8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 わかりました。

そうすると、素案の段階から策定の段階というのが観光振興計画、これはもう策定委員会の議事録も、1回目の議事録ですか、最初の、それいただきましたんで、今、作業部会で今度第2回が10月2日にあるとかってお聞きしてます

から、いずれにしても今の段階ではきちっと確定してるわけじゃないですね、策定中なんです。だから基本的にいうと、策定中で、先ほど言ったように、もう今出ている資料あるいは説明も含めて、私から言わせれば決まったみたいな印象受けるような今の進め方なんですけども、そうしますと、恐らく支障はないんでしょうけれども、観光振興計画の策定が結局その考え方に基づいて、すんなりいくと言ったらおかし、誘導されてるといえるか、そういう感じの受け取り方がされないのかなという感じなんです。これから本格的に決めていくわけですよ。

例えば花公園は、そういうことでメインみたいになってますけども、何かいろんな意見もあるというふうに聞いてます、花公園については、そういうことも聞いてるんですけども、そういう意味では、基本的にこれはあくまでも策定中で、いろいろ議論されてて、それをベースにして説明してると、こういうことにむしろ説明をいただく必要があるんじゃないかと、市民の皆様も含めてそういうような状況ではないかと思うんですが、そこの辺についてちょっと市長の考えをお聞かせください。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

観光振興計画については、例えばかわと道の駅と花公園が観光振興計画ではないわけですし、その一つの柱として据えてはいるんですが、観光振興計画というのは総合的なものでありまして、実は計画を策定した後の具体的なソフト事業をどうするかと、人材も含めて、あるいは食とかお土産とか、そういったところが非常に重要であると思っております。ですからその中で、都市再生整備計画が先行してきてるわけですけども、必ずしも都市再生整備計画と観光振興計画がイコールではありませんので、そのところは観光振興計画、もっと幅広い、しかもある

程度長いスパンでの計画だというふうなことでご理解いただければと思います。

○安部 隆委員長 8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 それは観光振興計画って、そのとおりですね。それでなければ、言われてるように観光振興計画をやろうとしたら、10年、20年のスパンでしか成果出てこないですよ、このままいってもね。だからそこがそれで決まったなんていうことではなくて、きちっと今年度いっぱいかけてつくると、こういう段階でしようから。ただ、勘違いされるのは、含めて全部決まったんじゃないかみたいなふうな私は捉え方を市民からも言われるわけですね、「あやめR e P o」なんかを出すと。だから、これはこれから議論するんですというふうに答えてるわけですが、ぜひそういうことで取り組んでいただきたいなと思います。

冒頭申し上げましたように、これなかなか議論をしていて、私らも整理がつかなくてずっとこういう議論を続けてきたわけですけども、先ほど佐々木委員がいろいろなところで話をして、こういうのはどうですかという提案もされてるようでありますけれども、基本的にそういうことを議会と当局でやり合う場というか、議論する場が何できちっとできなかつたのかなというのが本当に残念だなと思ってるんです。だから、先ほども答弁ありましたけども、これからぜひきちっと話をするところは話していくと、議論するところは議論すると、こういう姿勢でお願いしたいなということを申し上げて、私の予算総括質疑を終わりたいと思います。ありがとうございました。

散 会

○安部 隆委員長 本日はこれをもって散会いた

します。

再開は、明日午前10時といたします。ご協力ありがとうございました。

午後 4時41分 散会